

イノシシ処理加工施設の設置を

町長 慎重に考えるべき



諸遊 穰司 議員

【諸遊】イノシシによる農作物の被害が増えている。県や町では、被害を最小限に抑えるため、1頭1万5000円の捕獲奨励金の交付や、進入防止柵等の設置の助成を行っているが、被害は毎年増え、その捕獲頭数も増えている。町内被害総額は、平成20年が1390万円、捕獲頭数は、今年度が103頭である。

積極的な施策を講じ、国の処理施設導入支援事業（国の補助率50%）を活用し、町内に処理加工施設を造ってはどうか。公設民営で運営されれば新たな町独自の特産品となり、従

【町長】量的に安定した供給がないこと、季節によって品質に差が生じることが問題。また、施設の運営、販路の確保等を考えて慎重に考慮すべきと思う。

来の負の産物から本町のまちおこしに充て活用できると考えるが。



負の産物をまちおこしに

人権尊重の町づくりに不備はないか？

町長 人権同和教育の充実に努める



岡田 聡 議員

【岡田】先日、町民による電話での差別発言が発生した。憲法は、すべての人の基本的人権を保障し、社会的身分、または門地によって政治的または社会的関係において差別されない、とうたっている。さらに、「大山町人権尊重の社会づくり条例」でも、町の責務、町内にくらすすべての者の責務として同じように定められている。

このように、法律や条例に基づいて、さまざまな努力がなされているが、残念な気持ちでいっぱい。これまでどおり、町教育委員会、人権・

【教育委員長】残念な思いでいっぱい。取り組みの成果は認められていない。まだまだ、取り組みを緩めてはいけない。今後このようなことが起きないように、さらに、人権・同和教育の充実に努めたい。

【町長】不備はないと考えているが、残念な気持ちでいっぱい。これまでどおり、町教育委員会、人権・同和教育推進協議会の三者が協力し、あらゆる差別問題を解決したい。また、行政職員や推進者の養成に、更に力を入れる必要があると考えている。



あらゆる差別をなくす研究大会（平成22年）